



Careline

KYOUWAKAI Press ケアライン

特集

回復期リハ病棟を支える 『セラピストマネジャー』

2019

秋号

REPORT 第4回 地域交流会

スタッフ一丸となってONE TEAM!!

11月となり秋も深まってまいりました。

今年は9月に千葉県への台風15号、そして10月には広く東日本を襲った台風19号と大変な被害が出ました。毎年日本のどこかで災害が発生していることに胸が痛みますが、それだけに防災への取り組みをしっかりと行っていかなばなりません。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

そうした中でひとつの話題としてラグビーワールドカップで日本代表の活躍が目されました。“ONE TEAM”の言葉通り、チーム一丸となって初の決勝トーナメント戦を引き寄せた試合に感動しました。そこには強いチーム、つまり一人ひとりが勝負で

きる力を持ち結束した時の強さがありました。

私達の業界に置き換えると医療、介護の世界は様々な専門集団の集まりです。各専門スタッフが高いスキルを持ちチームとして一丸となることが求められ、これはスポーツの世界と同様と考えます。

そこで今回の広報紙「ケアライン(秋号)」は私どもチームの要(かなめ)である回復期リハ病棟セラピストマネジャーを特集しました。当院17名のマネジャーがONE TEAMに向け取り組んでいる姿をご理解いただければ幸いです。ご一読ください。

令和1年11月

医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 連携広報部長 井上 崇

Research!
セラピストマネジャーとは?

- 入院患者及びその家族に対する質の高いリハビリテーションサービスの提供を行うケースマネジメント
 - 人的・環境的リスクに関するリスクマネジメント
 - 多職種協働と病棟運営に寄与するフロアマネジメント
- 3つのマネジメントを行うのがセラピストマネジャーです。

※一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会が主催となり、平成23年度よりセラピストマネジャーコースを開講しています。



回復期リハ病棟の制度ができてもうすぐ20年を迎えます。病棟数は増加傾向にあり、回復期リハ病棟で働くPT・OT・ST(以下、セラピスト)数は、約1万5千人超となっています。多職種のスタッフが力を合わせて自宅復帰を目指す回復期病棟は、病棟のマネジメントが重要な課題となります。

セラピストは今、その質が問われています。高いリハマインドを持ちフロアマネジメントも行えるようなセラピストが必要です。しかし、病棟のマネジメントとは、容易なことではありません。多職種の専門性や、考え方をしっかりと理解していなければなりません。それだけでなく、リスクマネジメントやスタッフの育成、組織学なども非常に重要です。

17名のセラピストマネジャーが在籍をしています。みんなで回復期リハビリテーション病棟を支え、盛り上げていきたいと考えています。

Interview!

令和元年度の当院受講生に取材をしました!

Q.研修期間はどのくらいですか?

研修は18日間(6日×3クール)あります。令和元年は7月・9月・11月に東京で行われました。

Q.どんな研修を受けていますか?

講義は60個あり、リハビリテーション・マインド、マネジメント、多職種の専門性についてなど、経験豊かな講師陣から講義を聴くことができます。

Q.研修は楽しいですか?

楽しいです!多くの学びがあるだけでなく、研修を通して全国のセラピストと知り合うことができます。多くの仲間ができること間違いなしです。



令和元年度セラピストマネジャーコース受講生2名



受講生2名の研修の様子

Interview!

セラマネとして意識していること、日常業務への活用などを教えてください。



臨床サービス部
4階病棟 バイスマネジャー

理学療法課長補佐 立丸 允啓

世界のモデル病棟を目指し、看護課長・医長と協力して病棟全体の運営を行っています。特に看護課長のお顔色には細心の注意を払っています(笑)。セラマネで学んだことはたくさんありますが、「人」のマネジメント(メンタルヘルス・労務管理・育成など)は特に重要だと感じています。



臨床サービス部
外来 リーダー

作業療法 主任 原口 麻衣子

セラマネ取得からもうすぐ1年になります。まだまだ勉強中ですが、所属部署の運営・スタッフの育成を意識しています。患者様やご家族様により質の高いサービスを提供できるようにがんばっています。



臨床サービス部
5階病棟 リーダー

言語聴覚課長代理 金井 孝典

学んだことはチームマネジメントです。臨床現場で何が課題となっているのかをタイムリーに捉え、多職種が担う専門性・役割を判断し解決へ向けてチームを動かすマネジメントができるよう意識をしています。また、現在は高いリハマインドを持つSTの育成に奮闘しています。

第4回 地域交流会

～地域で元気づらしを～

文：地域交流会実行委員長 PT中村集平

2019年5月25日(土)に第4回目となる地域交流会が開催されました。

地域交流会の目的は、地域リハビリテーションの推進課題の一つである「リハビリテーションの啓発と地域づくりの支援」の一環として、脳卒中の予防やリハビリテーションに関する啓発、高齢者や障がい者の社会活動支援を通して地域ぐるみの支援体制づくりを推進する事としています。



今回は～地域で元気づらしを～をテーマとして、企画の柱を

- ①脳卒中や運動器疾患予防及びリハビリテーションの啓発
- ②高齢者や障がい者の社会活動支援

の2本として、内容を企画しました。

基調講演では、いきいきと過ごすためのリハビリの重要性、健康づくりのための方法に関して説明があり、「より実践的な運動について知ることができた。今後体力を保つために生活の中で行っていききたい」とご好評でした。



他にも、ポッチャ体験、患者さんの交流会や管理栄養士さんによるカフェ。体力測定コーナーや福祉用具の使用体験などなど、テーマにある地域で元気づらしを送るための様々なご助言をリハビリ病院の各専門職からご提案はできたのではないのでしょうか。

病院行事から地域行事への発展に向けた第一歩として、今回は南小倉地域への広報にも積極的に取り組んでみました。今後、数年スパンで地域への浸透をはかれればと思っています。



今後も地域交流会の継続にて、地域ぐるみの支援体制づくりの推進のためにより発展させていきます。

◆当院へのアクセス

JRの場合

「南小倉駅」(日豊本線・日田彦山線)より片野方面へ徒歩10分

バスの場合

「木町二丁目」バス停(ファミリーユサ前)より小倉南区方面へ徒歩10分

都市高速の場合

「紫川IC」清水方面車線出口よりすぐ右側

カーナビでお越しの際は、

NAVI 北九州市小倉北区篠崎1丁目5-1と入力してください。



IR 医療法人 共和会

小倉リハビリテーション病院／介護老人保健施設 伸寿苑／共和会地域リハビリテーションセンター

TEL.093-581-0668 (代表) FAX.093-581-3319 (共通)

〒803-0861福岡県北九州市小倉北区篠崎1丁目5-1 <http://www.kyouwakai.net> 共和会 検索

公式SNSで情報配信中!



facebook

Instagram